

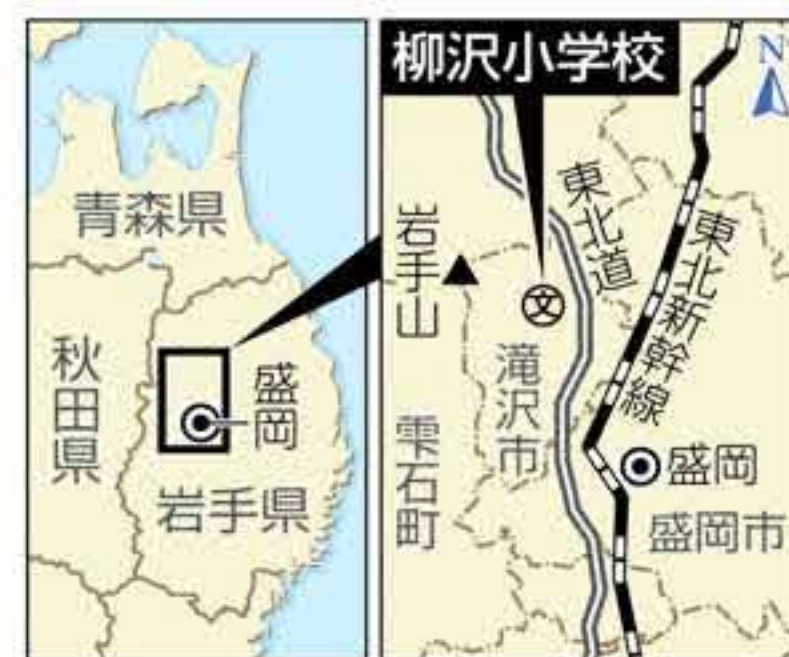
わたしたちの地域学習

岩手・滝沢市柳沢小

《 1 》

全国で取り組まれているNIEの実践。地域によって異なる課題に、NIEはどう応えているのか。5回にわたって取り上げたい。初回は、東日本大震災を機に防災教育に取り組む岩手県の小学校。
(長田真由美)

地震発生から津波襲来までの間、亡くなった人たちがどう行動したかをまとめ、インターネットでデジタルアーカイブとして無料公開されている(サイト「犠牲者の行動記録」で検索)。これまで取材に協力してもらった遺族に記者が再取材。居場所が判明した犠牲者千二百二十六人の行動を地図上で再現した。六百



八十七人は実名で登場する。一学期に、アーカイブを使って、同社報道部の鹿糠敏和記者(三)が授業をした。地震発生時、滝沢市は大きく揺れはなかった。アーカイブを見ると、周辺の沿岸部では、一度は逃げたのに通帳を取りに

県都・盛岡市に隣接。東日本大震災で震度6弱を観測した。市内で大きな被害はなかったが、県全体で死者・行方不明者数は約5800人、家屋損壊は約2万5000棟に上った。陸前高田市や大槌町など沿岸地域には、広範囲に津波が押し寄せ、多くの人が命を落とした。

「命を守る」「震災から学ぶ」

百名山の一つ、岩手山の麓にある岩手県滝沢市の柳沢小学校。のどかな自然が広がるこの地域で、五、六年生十人が防災を学んでいた。きっかけは、地元紙「岩手日報」と首都大学東京の渡辺英徳准教授がデジタルと紙面で制作した「震災犠牲者の行動記録」



白い屋根の建物は、岩手県陸前高田市の市民体育館。青い線は男性、赤は女性の動きを示す。デジタルアーカイブから(岩手日報提供)

防災 デジタル教材で授業



学んだ内容をまとめた「はがき新聞」を持つ5、6年生。岩手県滝沢市柳沢小学校で

いた」と六年川村波流斗君。「とにかく逃げる。逃げたら戻らない。亡くなった人が伝えてくれたことを忘れない」と強く思った。

アーカイブは、震災から五年がたち、犠牲者の遺訓をこれからの防災に生かすべきだと制作が始まった。鹿糠記者とともに、データをまとめた金野訓子記者(三)は「学校で活用してもらえとは思っていません」と驚く。「デジタルなのでどの地域でも使ってもらえる。次に災害が起きたとき、命を落とす人が少しでもないよう、ぜひ活用してほしい」と考える。

一方、柳沢小では、せっかく受けた授業を形に残さずと、担任の鈴木誠教諭(五)が

「はがき新聞」作りを提案。「子どもたちの書く力をつける狙いもあった」とする。分量が少ないからこそ、まとめる力が必要になる。児童にとっては、抵抗なく取り組める。切手を貼れば送ることができる。好評だった。「子どもたちに、もっと書きたいという気持ちも出てきた」と鈴木教諭は喜ぶ。

はがき新聞で、五年高橋悠雅君は「ここも岩手山が近いから噴火に備えて、家族と話し合った方がいい」、五年西田尚生君も「亡くなった人が教えてくれたことを、もしも岩手山が噴火したら役立てたい」とつぶやいた。こうした児童の気付きを、鈴木教諭は新たな学びにつなげた。岩手山を軸にした防災教育だ。

岩手山は、過去に四回噴火した記録が残る。県のシンボルとして親しまれ観光客も多い一方、噴火も心配される。児童たちは恩恵と脅威が共存する山の姿に気が付いた。「津波から命を守る、という学習から、身近なところから引き寄せて考えることができ」と鈴木教諭は力を込める。



NIE全国大会と合わせ、Twitterを「新新聞 (@chunichi_nie)」が、新聞の読み方やおすすめの記事を

季節の話題 趣向凝らす

立春、桃の節句、海開き。季節にちなんだ話題が、紙面をよく飾ります。春夏秋冬の行事は、生活に

身近なので読者の関心が高いのです。きょうは、啓蟄。二十四節気の一つで、土の中で冬

ごもりしていた生き物がはい出るころです。新聞記者は、その年ならではの話題や特徴を織り交ぜて、記事に趣向を凝らします。

新聞とわたし

休日に時々読みます。難しい言葉が出てくると、辞書で意味を調べます。滋賀県の記事が楽しみです。彦根市内で見つけた稲部遺跡に関心を持ちました。実際に六年生の皆と遺跡を見に行き、誇りに感じました。



大西真帆さん

難しい言葉、辞書で調べる

最近米国トランプ大統領のイスラム圏七カ国の入国禁止令に注目しています。病気のイラン人女性が病院に到着した記事を見て、ほんとに怖かったです。テロは怖いけれど、関係ない人まで入国を止めるのは良くないです。トランプ大統領がきっかけで、新聞をしっかり読むようになってきました。母から「ニュースを知っておいた方がいい」と言われます。四月から中学生になりますが、もっと読む時間を増やしていきたいです。(滋賀県彦根市稲枝北小六年)

狙うぞ 特ダネ!? たなかひさし

